

【ヨハネの黙示録第7章】

「彼らは、大きな患難から抜け出て来た者たちで、その衣を小羊の血で洗って、白くしたのです。」(7:14)

「大きな患難」は世の終末の前に全世界に臨みます。(「あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。」黙3:10 「その時、あなたの国の人々を守る大いなる君、ミカエルが立ち上がる。国が始まって以来、その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る。しかし、その時、あなたの民で、あの書にしるされている者はすべて救われる。」ダニ12:1)。「私たちが神の国に入るには、多くの苦しみを経なければならぬ」(使徒14:22)しかし、イエス様を信じている人はこの中から救われます。

9節以降救われた者が天に於いて祝福されている様子が描かれています。大勢の群衆とありますが、リバイバルの時はあらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、誰にも数えきれないほどの大勢の人が救われるでしょう。“白い衣”を着ていると言うのです。これは小羊イエス様の流された血によってきよめられていると言うことです。しゅろの枝を手を持って、御座と小羊との前に立っていたと言うのですから、死んで(殉教でしょう)既に天国にいます。

今回の殉教聖会で最も印象的であったのは、26聖人は「喜んでいた」ということです。なぜそのような非情な苦しみを通らされたにもかかわらず(みせしめのため、京都から長崎まで1カ月余り、歩いて厳寒の中後ろ手に縛られて歩き、西坂の丘で十字架に縛られて槍で突かれて処刑される)喜べたのでしょうか！？それは彼らがイエス様を信じ、聖霊に満たされていたからです。困難よりも神の力が彼らを覆っていたから、主の言葉を守り、主のみ名を否まない彼らと共に主がおられたから、天国の希望を持っていたから、...

まだ患難時代に入っていませんが、患難時代に入るともっとも多くの困難があり、信仰が試されていきます。日本には1%にも満たないクリスチャンがいるだけです。その中で私たちは特別に「神様の選ばれた人」です。今大きな患難にあっている方も、感謝しと賛美を熱心にして、喜びながら(マーリン・キャロザーズ師の置き土産) 主イエス様の言葉を語り、証しをしてゆきましょう！(激しい迫害を潜り抜け、イエス様の血により雪のようにきよめられて)

今回の殉教聖会で、はじけるばかりの喜びの賛美が捧げられていたのが非常に印象的でした。聖会の終わりに、一つ一つの事を皆で心から感謝を捧げ、なおなお豊かな神様のご臨在に満たされました。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014. 2. 9 No. 775

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16

2014年2月5日西坂の丘で殉教聖会が持たれました。



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>

